



コガネムシ成虫



コガネムシ幼虫

コガネムシ防除に SLゾル 1回使用で長く効く、 秘密のカギは、 マイクロカプセル

マイクロカプセル製剤

ダイアジロン[®] SLゾル

特長

- ① 新しいタイプのマイクロカプセル製剤
- ② 1回の使用でコガネムシ類を長期間防除する持続効果
- ③ 毒性と魚毒性が大幅に軽減された製剤
- ④ 散布時、散布後ともにおいの少ない製剤
- ⑤ マイクロカプセル独自の食毒効果



適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む 農薬の総使用回数	
かんしょ やまのいも さといも らっかせい いちご つつじ類 ひのき・すぎ (苗畑) さくら	ナカジロシタバ	1,000倍	100～300ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内	
	コガネムシ類幼虫	50倍	100ℓ/10a	植付前	1回	全面土壌混和 または畝立前 作 条 散 布	(マイクロカプセル剤の植付前の 処理は1回以内、マイクロ カプセル剤の散布は2回以内、 粒剤の散布は2回以内)	
		25倍				全面土壌混和		1回
		25～50倍					は種前 定植前(本圃) 植付時(仮植床)	
		50倍		育苗ポット灌注		2回以内		
		25倍	全面土壌混和					
		50倍					全面土壌混和	
		500倍	1,000ℓ/10a	ポット育苗時		全面土壌混和		
		25～50倍	100ℓ/10a	植付時				
100倍	200～400ℓ/10a	植付前						
芝	アメリカシロヒトリ	1,000倍	200～700ℓ/10a	発生初期	4回以内	散布	4回以内	
	シバツトガ スジキリヨトウ シバオサゾウムシ成虫 シバオサゾウムシ幼虫 コガネムシ類幼虫		0.3ℓ/m ²			土壌注入		
	コガネムシ類幼虫	250倍	0.7～1ℓ/m ²					散布 土壌混和
		コガネムシ類幼虫	25倍	1ℓ/m ²		コアリング時(目土前) 張り芝前		
				0.1ℓ/m ²				
	樹木類	16g/培土m ³	400～2,000mℓ/培土m ³	鉢上げ時又は鉢代え時		1回		培土混和

上手な使い方

①整地

散布の前に、畑の耕起・碎土を十分に行ない、ていねいに整地してください。

②薬剤散布

畑の土壌表面全面にまきむらのないよう均一に散布してください。乾燥や紫外線により、カプセル

膜が劣化するおそれがありますので、散布後はすぐに土壌混和してください。

③混和

散布方向と直角に、15~20cmの深さで均一に行なってください。
※トラクター搭載散布の場合は、散布時に混和が同時に行なえます。

散布液の作り方

- 粘濁性が高い液体のため、貯蔵中に沈殿を生じることがありますので、使用前に必ずボトルをよく振ってお使いください。
- 希釈後は直ちに散布してください。希釈後に静置した場合は、散布前に十分攪拌してください。

散布後の処置と保管

- 希釈や散布に用いた器具は水でよく洗い、特にノズルなどの噴霧器はよく手入れをしてください。
- 凍結注意。冬季の低温時は、保管場所に十分注意し、凍結をさけてください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温場所に密栓して保管してください。

効果的な散布方法

●動力噴霧機散布

薬液が霧状に飛散しないようにノズルを調整してください。



●乗用トラクター

搭載散布

散布と土壌混和が同時にできます。



●軽トラク搭載散布

大容量のタンクを搭載できるため、大面積への散布に適しており、散布時間が短縮できます。
注) 半クラッチ走行は故障の要因となりますので、ご注意ください。



使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使い切ってください。
- 貯蔵中に沈殿を生ずることがあるので、使用直前に容器をよく振って使用してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ所定量の範囲内で調節してください。
- 本剤の散布薬液は希釈調整後できるだけ速やかに使用してください。希釈調整後に静置しておいた場合は、散布前に十分攪拌してください。
- コガネムシ類幼虫、シバオサゾウムシ幼虫に対して土壌注入処理をする場合には、農薬を高圧噴射できるインジェクターを使用してください。
- コガネムシ類幼虫に対して散布処理をする場合には、コアリング時の目土前に処理してください。
- 樹木類の培土に処理する場合には、培土中に薬液が十分行き渡るように所定量の範囲内で使用液量を調整し、培土とよく混和してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。

- ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかけないようにしてください。
- ②養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の蜜にはかけないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤があります。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
- 眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。

- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温場所に密栓して保管してください。
- 低温時は保管場所に十分注意し、凍結を避けてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

この印刷物は平成25年10月の登録内容に準拠して作成しました。